

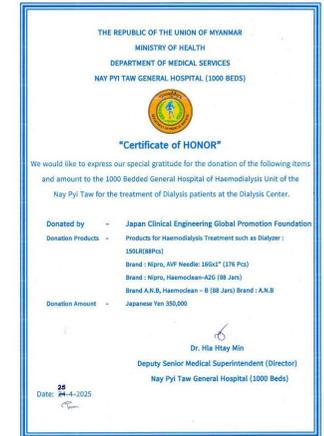
臨床工学国際推進財団(CEGPF)よりミャンマーに医療物資を緊急供給

2025年3月28日現地時間午後0時50分頃、ミャンマー中部のザガイン地方を震源とするマグニチュード7.7の地震が発生しました。ミャンマー第2の都市と言われるマンダレーでは建物や橋の倒壊が報告され、多くの死傷者が発生するなど、甚大な被害が広がっています。



臨床工学国際推進財団では、ミャンマーME育成事業等を通して支援を行ってきた経緯もあり、直ちに震災支援について検討しました。そしてインフラが崩壊した状態において医療物資を供給することとし、同国に供給ルートを持つ日本の医療機器企業2社（ニプロ社、日機装社）に依頼し、財団から100万円相当の透析物資を供給を行いました。更に財団の瀬上清貴監事個人からも20万円の寄付も寄せられ合計120万円相当の医療物資をネピドー及びマンダレーの病院に届けました。

CEGPF`s donation products delivery to Nay Piy Taw 1000 Bedded General Hospital on April, 2025



CEGPF`s donation products delivery to Mandalay General Hospital on April, 2025

